

**製品名:** リン酸化心筋トロポニン I (Ser22/Ser23) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00836

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 24 kDa; Observed MW: 28 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Tnni3
別名	TNNI3; TNNC1; Troponin I; cardiac muscle; Cardiac troponin I
遺伝子 ID	29248.0
SwissProt ID	P23693
免疫原	抗血清は、マウス TNNI3 の Ser22 と Ser23 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 5-54

## 背景

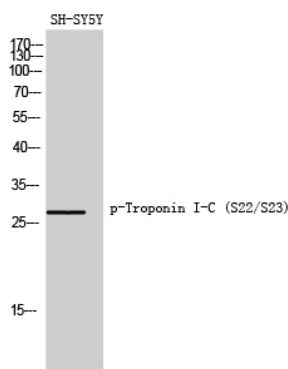
トロポニン I (TnI) は、トロポニン T (TnT) およびトロポニン C (TnC) とともに、横紋筋の細いフィラメントのトロポニン複合体

を形成する3つのサブユニットの1つです。TnIは抑制サブユニットであり、アクチン-ミオシン相互作用を阻害することで横紋筋の弛緩を調節します。TnIサブファミリーには、tnI-skeletal-fast-twitch、TnI-skeletal-slow-twitch、およびTnI-cardiacの3つの遺伝子が含まれます。この遺伝子はTnI-cardiacタンパク質をコードし、心筋組織でのみ発現します。この遺伝子の変異は、家族性肥大型心筋症7型(CMH7)および家族性拘束型心筋症(RCM)を引き起こします。

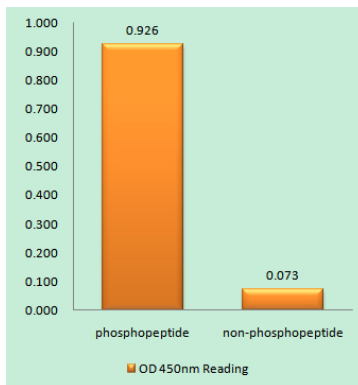
## 研究分野

シグナル伝達

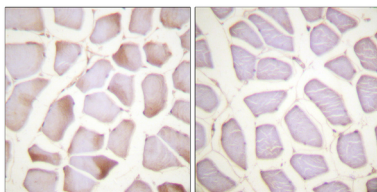
## 画像データ



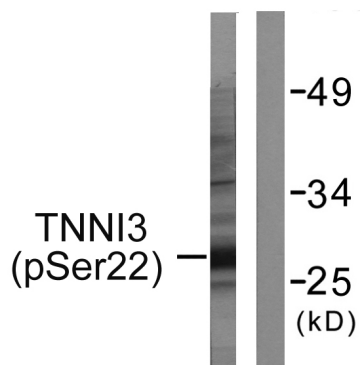
リン酸化心筋トロポニン I (Ser22/Ser23) 抗体を使用した SH-SY5Y 溶解物中のリン酸化心筋トロポニン I (Ser22/Ser23) のウエスタンブロット分析。



TNNI3 (リン酸化 Ser22+Ser23) 抗体を使用した、免疫原リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)。



TNNI3 (リン酸化 Ser22+Ser23) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



リン酸化心筋トロポニン I (Ser22/Ser23) 抗体を使用したマウス心臓溶解物中のリン酸化心筋トロポニン I (Ser22/Ser23) のウェスタンプロット分析。右側のレーンはリン酸化ペプチドでブロックされています。